NOMA NIPPON OMNI-MANAGEMENT ASSOCIATION

医療福祉研究会

関係部門へ ご回覧ください

病院・医療機関のための

IT・医療情報セキュリティ強化のあり方

～ 電子カルテ・地域包括ケア…リスク高まる医療ITの安全をどう守るか？ ～

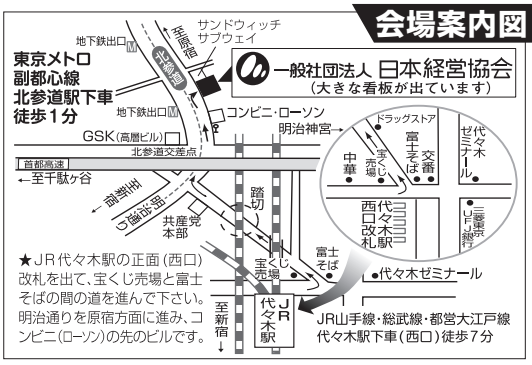
日　時 平成29年２月３日（金）13：00～17：00（4H）

会　場 東京・代々木・本会内セミナー室（右図参照）
東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-8　TEL(03)3403-8615(直)

講　師 有限責任監査法人トーマツ
根本（ねもと）　大介（だいすけ）氏
古道（ふるみち）　義隆（よしたか）氏

対　象 病院・医療法人の経営層、事務長、情報システム課、医事課などの関連部門

会場案内図



主催 一般社団法人 日本経営協会

開催にあたって

医療のあらゆる部門にITが浸透して利便性が高まる反面、情報漏えい、不正アクセス、ウイルス感染など、セキュリティ上の様々なリスクも発生するようになりました。

医療現場におけるITセキュリティはいうまでもなく人命と直結するものであり、組織全体を巻き込んだ実効性のあるリスク管理と万一の事態に対する備えが求められます。

本セミナーでは、医療現場における実効的なセキュリティ強化策やトラブル・事故への対応について、事例も交えながらわかりやすく解説いたします。

■申込・支払方法

参加申込書に必要事項をご記入のうえ、郵送又はＦＡＸにてお申し込みください。追って、振込口座名を記載した請求書と参加券をご派遣責任者（連絡担当者）までお送りします。不着の場合は必ず電話にてご確認ください。お振込みは原則として請求書に記載されましたお支払期限までにお願いします。

- ●振り込み手数料は貴社（団体）にてご負担ください。また、領収書は「振込金受領書」をもってかえさせていただきますのでご了承ください。
- ●万一ご都合が悪くなった場合は代理の方がご出席ください。
- ●教材は原則として当日会場にてお渡しします。
- ●参加者が少数の場合、天災の場合などにおいては中止・延期させて頂く場合があります。すでにお振込の場合は、全額返金させていただきます。
- ●録音録画、撮影等は原則として出来ません。ご了承ください（特記の場合を除く）。

■キャンセルについて

開催日の３営業日前からは30%、開催当日は100%をキャンセル料として申し受けます。なお、当日までに連絡が無く欠席の場合は、100%のキャンセル料となりますので、あらかじめご了承ください。

■参加料（テキスト・資料代含）

	参加料	消費税	合計
ＮＯＭＡ会員（1名）	18,000円	1,440円	19,440円
一　般（1名）	20,000円	1,600円	21,600円

■お申込み・お問合せ先

一般社団法人　日本経営協会
コンベンションセンター　●担当：中川
〒151－0051　東京都渋谷区千駄ヶ谷３－11－８
ＴＥＬ（03）3403－8615（直）
ＦＡＸ（03）5413－4327
URL http://www.noma.or.jp

キ ------ リ ------ ト ------ リ ------ セ ------ ン

NOMA NIPPON OMNI-MANAGEMENT ASSOCIATION
一般社団法人　日本経営協会　コンベンションセンター 宛
ＦＡＸ（03）5413－4327

平成　　年　　月　　日

事務局使用欄	No.	

参加申込書　「ＩＴ・医療情報セキュリティ強化のあり方」　07499　2017.2/3 13：00開講 NOMA

病院(団体)名	フリガナ	TEL		□会　員　□一　般（該当にレ印をつけてください）	
所　在　地	〒	FAX		業　種	
				従業員数	名

参加者氏名	所属・役職	メールアドレス
フリガナ		e-mail：
フリガナ		e-mail：

派遣責任者	フリガナ	所属・役職		メールアドレス	e-mail：

参加申込書にご記入いただいた情報は、以下の目的に使用させていただきます。
①参加券や請求書の発送などの事務処理　②セミナー・イベントなど本会事業のご案内　※なお、②がご不要の場合は□にチェックしてください。――□不要
※今後eメールによるご案内も予定しています。ご希望の方は、ご記入ください。

プログラム

第一部：医療施設のセキュリティ対策

1．医療情報システムの発展と情報セキュリティ対策の変遷

(1) 電子カルテ、完全ペーパーレス時代の到来
(2) 部門システムと端末管理のあり方
(3) 医療情報システムの連携とメンテナンス、運用のあり方の変化
(4) 情報セキュリティ対策費用

2．情報セキュリティに関する法令等の基礎知識 ～政府統一基準に基づくセキュリティ対策に至るこれまでの流れと求められる対策～

(1) 政府統一基準に基づくセキュリティ対策に至る経過概要
(2) マネジメントシステムの構築
(3) ペネトレーションテストの概要

3．医療従事者の抱える業務とITセキュリティにかかわるリスク

(1) 課題　～職員はなぜSNSで患者のことを打ち込んでしまうのか
(2) ITリスク対策で「働き方」リスク軽減
(3)「職員ひとりひとり」のために実現する、リスク軽減と効率化の同時向上

4．新たに整備するべきマニュアルの提案

(1) 情報管理に必要なマニュアル
(2) 個人情報保護規程・運用規定・情報セキュリティポリシーの実際
(3) マニュアルの利用方法
～運用とマニュアルの位置づけ

5．効果的な職員研修

(1) 職員研修の重要性
(2) 職員研修メニューの考え方
(3) 内部研修でできること、外部研修でできること

第二部：医療情報システムセキュリティ強化に向けたアクションプラン

1．医療情報システムのセキュリティ管理体制づくり

(1) セキュリティ対策は経営課題
(2) 継続的な取り組みを可能にする体制
(3) 管理体制はトップダウン
(4) 管理対象は職員だけではありません

2．医療情報システムのセキュリティ確認タイミング、スケジュール

(1) PDCAサイクルに基づく継続的な取り組み
(2) システム導入・更新が絶好のタイミング
(3) 多数のシステムに渡るセキュリティへの取り組み

3．厚生労働省「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」最新版のポイント

(1) ３省４ガイドラインの成り立ち
(2) 厚生労働省のガイドラインの目的
(3)「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」第4.3版のポイント

4．ここが危ない！ 本当にあったトラブル・事故

(1) ウィルスの感染経路、把握できてますか
(2)「事故が無かった」ことの証明
(3) データの保護対策
(4) システム会社のセキュリティ意識

5．情報セキュリティに使える情報技術の提案

(1) シンクライアントの運用
(2) IT的監視技術の運用
(3) パーソナルファイアーウォールの適用
(4) ネットワーク仮想化技術の適用
(5) 生体認証とシングルサインオン

6．結局は「ヒト」、ヒューマンエラーを防ぐために

(1) ルールが守られない理由
(2) その警告、ノイズになっていませんか
(3) セキュリティも支え合い

7．情報システム調達時、セキュリティ視点での仕様書の書き方

(1) 必要な機能、不要な機能
(2) 事故の影響範囲を極力抑える
(3) 運用期間を見据えた仕様書にするために

※最新の動向・情報を反映するため、プログラムを一部変更させていただく場合がございます。

講師プロフィール

有限責任監査法人トーマツ　**根本　大介**（ねもと・だいすけ）氏

医業経営コンサルタント。京都大学経営管理大学院卒。シンクタンクを経て、現職。医療情報システム、医療政策、医療経営、その他コンサルティング業務に従事。各種セミナー講演等。
【著書】「月刊　新医療」連載中（HISの定理）、「ナースのための電子カルテ導入・活用ガイド」（編集）、「会計実務Q&A・医療機関」（寄稿）、「医療経営白書2007年版」（寄稿）その他多数

有限責任監査法人トーマツ　**古道　義隆**（ふるみち・よしたか）氏

ITコンサルタント。東京外国語大学卒。ITベンダーにて医療情報システムの開発・構築業務を経験した後、現職。医療情報システム導入コンサルティング業務の他、システム監査、セキュリティ規程策定業務などに従事。